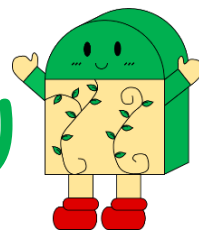




# さぎの森小だより

あいさつ・元気・学び合い



No.9 令和8年1月8日

学校教育目標 心豊かな子(徳) 体をきたえる子(体) 学び合う子(知)

## 学ぶ楽しさを実感し、笑顔あふれる学校に

校長 星野 和久

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
この一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心よりお祈りいたします。

3学期は、子どもたちにとって学年のまとめと同時に、進級・進学という一つの節目を迎えます。この節目は、子どもたちにとって、大きな希望の一步を踏み出す時です。目標に向かって意欲あふれるスタートができるよう、子どもたちへの後押しを、よろしくお願いします。



「節目」という言葉は、元々は「材木の節があるところ」の意味です。そこから意味が転じて、「区切りとなる大切なところ」という意味に使われています。特に、竹の「節目」が例えとして挙げられますが、竹は長いものになると20mを超えるほど伸びます。竹は円筒形をしていて中は空洞ですが、これを支えているのが一つ一つの節です。「節目」は、伸びた自身の身を強化し、反りにも強く、成長を助ける働きをしています。

人間にとっても「節目」は、それがあつて、気持ちを切り替えるけじめとなつたり、一つの目標地点となつたりするなど、成長の上で大きな意味をもちます。一年の始まりや各学期の始まり、大きな行事の後等は、これまでの自分を振り返つたり、これからの自分のあり方を考えたりすることができ、子どもたちにとつても「節目」を意識しやすい機会です。新たな年の幕開け、そしてそれぞれの学年のまとめの時期である3学期のスタートに、しっかりと「節目」を作つて進んでいけることを願っています。

学校でも、子どもたちのがんばりを認め、励まし、一人一人の成長を見守つていくために教職員一同力を合わせて努力いたします。3学期も、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## <学ぶ楽しさを実感できる学校>

子どもたちが笑顔になるためには、学校生活が楽しいことが大事です。まずは「友達となかよく遊ぶ楽しさ」、そして「協力して生活する楽しさ」から広がります。さぎの森小学校では、さらに学習において「学ぶ楽しさ」を実感して「笑顔あふれる」学校生活を期待しています。

学校での「学ぶ楽しさ」としては、次の3つを考えています。

- 1 「発見する・わかる」→知的好奇心・探求心が満たされる
- 2 「高め合う・認め合う」→学び合う仲間に貢献できる・安心できる・自己有用感
- 3 「できるようになる・わかるようになる」

→自ら成長を実感できる・達成感・自己肯定感・自尊感情の向上

学校で学習するからこそ、みんなで様々な事柄を体験的に学習して、「学ぶ楽しさ」を実感することができます。「学ぶ楽しさ」を感じる授業ができるように、教職員一同、今年も授業力向上に取り組んでまいります。

